

2023年3月6日

各位

会社名	イハラサイエンス株式会社	
代表者名	代表取締役社長	長岡 敏
	(東証スタンダード・コード番号 5999)	
問合せ先	取締役執行役員経営統轄室長	中川 路 豊
電話番号	03-6721-6988	

(訂正)「エン・アイ・ム株式会社によるMBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部訂正について

当社が2023年2月8日付で公表いたしました標記開示資料(同年2月9日付の「(訂正)『エン・アイ・ム株式会社によるMBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ』の一部訂正について」により変更された事項を含みます。)について、エン・アイ・ム株式会社(以下「公開買付者」といいます。)が、2023年3月6日付で、Nippon Active Value Fund PLC(ニッポン・アクティブ・バリュー・ファンド)との間で、同社が所有する当社の普通株式の全てについて、公開買付者が実施している当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)並びに、第1回株式報酬型新株予約権、第2回株式報酬型新株予約権、第3回株式報酬型新株予約権、第4回株式報酬型新株予約権及び第5回株式報酬型新株予約権(以下、総称して「本新株予約権」といいます。)の公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に応募する旨の応募契約が締結されたことに伴い、一部訂正がございましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、下線を付しております。

1. 公開買付者の概要

【訂正前】

<前略>

(注2) 公開買付者の設立時の代表取締役は中野千恵氏であるところ、2023年2月7日付で中野千恵氏が代表取締役の地位を辞任し、中野氏が公開買付者の代表取締役に就任しており、本日現在、当該代表取締役の変更について登記申請手続き中とのことです。

<後略>

【訂正後】

<前略>

(注2) 公開買付者の設立時の代表取締役は中野千恵氏であるところ、2023年2月7日付で中野千恵氏が代表取締役の地位を辞任し、中野氏が公開買付者の代表取締役に就任しており、同日時点で、当該代表取締役の変更について登記申請手続き中とのことでしたが、当該登記手続は、2023年2月14日までに完了しているとのことです。

<後略>

3. 本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由

(2) 意見の根拠及び理由

①本公開買付けの概要

【訂正前】

<前略>

本公開買付けの実施にあたり、公開買付者は、当社の第4位株主（2022年9月30日時点）であり、中野氏が代表理事を務める公益財団法人イハラサイエンス中野記念財団（以下「イハラサイエンス中野記念財団」といいます。）との間で、2023年2月8日付で基本契約書（以下「本基本契約」といいます。）を締結し、①イハラサイエンス中野記念財団が所有する当社株式の全て（所有株式数：533,000株、所有割合：4.91%。以下「本応募合意株式」といいます。）を本公開買付けに応募すること、及び②本公開買付けの決済完了後に、イハラサイエンス中野記念財団が公開買付者に対して、本公開買付けに所有株式を応募することにより受領する対価の相当額の全額（1,588,340,000円）を再出資し、無議決権株式である公開買付者のA種優先株式（注5）を取得することを合意しているとのことです。本基本契約の詳細については、下記「4. 本公開買付けに係る重要な合意に関する事項」をご参照ください。なお、中野氏は、本基本契約に関するイハラサイエンス中野記念財団における理事会の審議及び決議には一切参加しておらず、また、イハラサイエンス中野記念財団の代表理事の立場において公開買付者との協議及び交渉には一切参加していないとのことです。

<後略>

【訂正後】

<前略>

本公開買付けの実施にあたり、公開買付者は、当社の第4位株主（2022年9月30日時点）であり、中野氏が代表理事を務める公益財団法人イハラサイエンス中野記念財団（以下「イハラサイエンス中野記念財団」といいます。）との間で、2023年2月8日付で基本契約書（以下「本基本契約」といいます。）を締結し、①イハラサイエンス中野記念財団が所有する当社株式の全て（所有株式数：533,000株、所有割合：4.91%。以下「本応募合意株式」といいます。）を本公開買付けに応募すること、及び②本公開買付けの決済完了後に、イハラサイエンス中野記念財団が公開買付者に対して、本公開買付けに所有株式を応募することにより受領する対価の相当額の全額（1,588,340,000円）を再出資し、無議決権株式である公開買付者のA種優先株式（注5）を取得することを合意しているとのことです。加えて、公開買付者は、本公開買付けの開始後、本公開買付けの成立の可能性を高める目的で、当社の第2位株主（2022年9月30日時点）である Nippon Active Value Fund PLC（ニッポン・アクティブ・バリュー・ファンド。以下「NAVF」といいます。）との間で応募契約の締結に向けた交渉を行い、2023年3月6日付で公開買付応募契約書（以下「本応募契約」といいます。）を締結し、NAVFは、同日現在所有する当社株式の全て（所有株式数：1,000,000株、所有割合：9.22%、以下「本応募合意株式（NAVF）」といいます。）を本公開買付けに応募する旨を合意しているとのことです。本基本契約及び本応募契約の詳細については、下記「4. 本公開買付けに係る重要な合意に関する事項」をご参照ください。なお、中野氏は、本基本契約に関するイハラサイエンス中野記念財団における理事会の審議及び決議には一切参加しておらず、また、イハラサイエンス中野記念財団の代表理事の立場において公開買付者との協議及び交渉には一切参加していないとのことです。

<後略>

⑥マジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）を上回る買付予定数の下限の設定

【訂正前】

<前略>

しかし、買付予定数の下限である7,185,700株は、当社第3四半期決算短信に記載された2022年12月31日現在の当社の発行済株式総数（14,000,000株）から、(i)当社第3四半期決算短信に記載された当社が同日現在所有する自己株式数（3,221,489株）、(ii)中野氏及びトク・コーポレーションが所有する当社株式の数（498,500株）並びに(iii)本応募合意株式の数（533,000株）を控除した株式数（9,747,011株）の過半数（4,873,506株。いわゆる「マジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）」に相当する数）を上回るものとなります。これにより、公開買付者と重要な利害関係を有さない当社の皆様の過半数の賛同が得られない場合には、当社の少数株主の皆様の意思を重視して、本公開買付けを含む本取引を行わないこととしているとのことです。

【訂正後】

<前略>

しかし、買付予定数の下限である7,185,700株は、当社第3四半期決算短信に記載された2022年12月31日現在の当社の発行済株式総数（14,000,000株）から、(i)当社第3四半期決算短信に記載された当社が同日現在所有する自己株式数（3,221,489株）、(ii)中野氏及びトク・コーポレーションが所有する当社株式の数（498,500株）並びに(iii)本応募合意

株式の数（533,000株）を控除した株式数（9,747,011株）の過半数（4,873,506株。いわゆる「マジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）」に相当する数）に、(iv)中野氏及びトク・コーポレーションが所有する当社株式の数（498,500株）、本応募合意株式の数（533,000株）を加算した株式数（5,905,006株）を上回るものとなります。これにより、公開買付者と重要な利害関係を有さない当社の皆様の過半数の賛同が得られない場合には、当社の少数株主の皆様の意思を重視して、本公開買付けを含む本取引を行わないこととしているとのことです。

なお、NAVFは、公開買付者と利害関係を有しない独立した投資者であるところ、本応募契約は、独立した当事者間で行われた真摯な協議・交渉に基づき締結に至ったものであることから、本応募契約の締結の事実により、NAVFが、いわゆる「マジョリティ・オブ・マイノリティ（Majority of Minority）」条件の判断における、公開買付者と重要な利害関係を有する当社の株主に該当するものではないと考えているとのことです。本応募契約の詳細については、「4. 本公開買付けに係る重要な合意に関する事項」をご参照ください。

4. 本公開買付けに係る重要な合意に関する事項

【訂正前】

公開買付者は、2023年2月8日付で、中野氏及びイハラサイエンス中野記念財団との間で、以下の内容を含む本基本契約を締結しているとのことです。なお、本基本契約以外に、公開買付者又は中野氏とイハラサイエンス中野記念財団との間で本公開買付けに関する合意は存在せず、本公開買付けに応募することにより得られる金銭以外に、公開買付者からイハラサイエンス中野記念財団に対して供与される利益は存在しません。

<後略>

【訂正後】

(i) 本基本契約

公開買付者は、2023年2月8日付で、中野氏及びイハラサイエンス中野記念財団との間で、以下の内容を含む本基本契約を締結しているとのことです。なお、本基本契約以外に、公開買付者又は中野氏とイハラサイエンス中野記念財団との間で本公開買付けに関する合意は存在せず、本公開買付けに応募することにより得られる金銭以外に、公開買付者からイハラサイエンス中野記念財団に対して供与される利益は存在しません。

<中略>

(ii) 本応募契約

公開買付者は、本公開買付けの開始後、2023年3月6日付で、NAVFとの間で、本応募契約を締結しているとのことです。なお、本応募契約以外に、公開買付者又は中野氏とNAVFとの間で本公開買付けに関する合意は存在せず、本公開買付けに応募することにより得られる金銭以外に、公開買付者からNAVFに対して供与される利益は存在しません。

本応募契約において、NAVFは、本応募合意株式（NAVF）（所有株式数：1,000,000株、所有割合：9.22%）の全てについて本公開買付けに応募すること（以下「本応募」といいます。）を合意しているとのことです。但し、本応募契約において、NAVFは、公開買付期間の末日までに、(a)本公開買付価格である2,980円（買付条件の変更により同価格が引き上げられた場合には、当該変更後の価格）よりも高い価格で公開買付者以外の第三者による当社株式に対する公開買付けが開始された場合、(b)公開買付者以外の第三者によりNAVFに対してNAVFが所有する当社株式の全部若しくは一部を買い付ける取引に係る具体的かつ実現可能性があるとしてNAVFが合理的に判断する提案若しくは勧誘がなされ、同取引における当社株式1株当たりの買付け等の価格が本公開買付価格よりも高い場合、又は(c)NAVFが本応募を実施すること、又は応募を撤回しないこと、若しくは本応募契約を解除しないことが、NAVFの取締役がNAVFに対して負っている受託者責任（fiduciary duty）に違反する可能性が高いとNAVFが合理的に判断した場合、NAVFは、本応募を実施せず、又は、本応募を撤回し若しくは本応募契約を解除することができることを合意しているとのことです。

また、本応募契約において、NAVFは、直接であるか間接であるか又は自己の計算であるか他人の計算であるかを問わず、本応募契約締結日後、本応募を除き、本公開買付けの決済の開始日までの間、当社株式の取得、本応募合意株式（NAVF）の譲渡、担保設定その他の処分その他本公開買付けと実質的に抵触し又は本公開買付けの実行を困難にする取引及びそれらに関する合意を行わないことを合意しているとのことです。

以上